

第112号

発行日 2023年2月26日
発行責任者 嶋原 久
編集・印刷 齋藤 馨



育成部クリスマス会 ビンゴゲームで盛り上がる

健全育成部では一二月八日、恒例行事の楽しいクリスマス会を開き、日頃なかなか集まらない友達と一緒に、楽しい時間を過ごしました。

コロナ感染防止対策として、一度に行わず下級生の部（一年生と三年生）と上級生の部（四年生と六年生）の時間をずらし、二度に分けました。

まず、誰もが大いに期待しているビンゴゲームで幕を開け、ゲームが進むうちにあちこちから「リーチ！」の聲が上がって雰囲気次第に盛り上がるようになっていきました。商品は男女別に分けられており、商品をゲットすると、お互いに見せ合

つて喜んでいました。続いてのゲームは、後ろ向きになってボールを放り上げ、箱にいれるものですが、難しくてなかなか入らず、残念がってしまいました。

しかし、コロナによる



1年～3年生の皆さん



4年～6年生の皆さん



日頃のうっぴんが晴れたようので、帰りにはそれぞれプレゼントをもらい、にこにこしながら集会所を後にしました。役員の方々はどうな企画をすれば子ども達も喜んでくれるのか苦労されたと思いますが、大成功でほっとされたことでしょう。皆さん本当にご苦労様でした。

第二回スカットボール大会で 盛り上がる ～大旦町会さくら会～

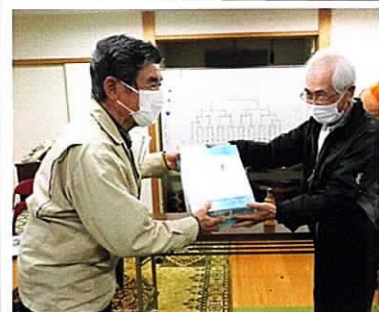


続いて尾形タマ子さんの指導で元気体操を行った後、第二回スカットボール大会を開きました。二回目とあって伸び伸びとボールを打ち、高得点のホールに入ると大歓声が起こり、楽しい大会になりました。優勝は昨年優勝

一月五日、さくら会では清掃作業の後、東部地区包括支援センターの相澤主任介護支援専門員等から、センターの業務内容について講演をいただき、理解を深めました。



優勝二連覇の鴻野副会長



入賞の尾形賢司さん



入賞の大越ミヨ子さん

「大旦大エノキ伐採記録」DVDを鑑賞

十二月一日の例会では、市の天然記念物に指定されていた大エノキが枯れ、昭和四六年、伐採された時の様子を齋藤久一元町会長が撮影されており、それをスクリーンに映して鑑賞しました。皆感慨深げに見入っていました。さくら会では、原則月一回例会を開き、清掃作業や懇談会を開いており、楽しく交流を深めています。会員を募集しておりますので是非入会され、皆さんと駄弁りませんか。ちなみに会費は年額一五〇〇円です。



勝した鴻野明恵副会長が二連覇し、大きな拍手を受けました。他に尾形賢司さん、大越ミヨ子さんが入賞し、齋藤忠昭会長から賞品が贈られました。

鴻野明恵さん表彰される 交通安全諸活動の功績認められ

大旦町会総務部長の鴻野明恵さんは、福島市交通安全協会の会員として安全安心な交通社会の実現に尽力されたことで、福島警察署長・福島地区交通安全協会長名で表彰を受けました。

なお、鴻野さんは大旦町会子どもを見守る会においても毎朝通学路に立ち、子ども達の通学を温かく見守っています。

カーブミラー設置

二月八日、自治振興協議会に要望していたカーブミラーが設置されました。設置場所は第四班付近の三叉路で、従来設置されていたミラーのポールに追加して取り付けられたものです。これまでは一方向のみの確認しか出来ませんでした。左右の確認が出来るようになりました。



今後とも交通事故撲滅に向け一層のご活躍をご期待致します。この度は誠にありがとうございました。



部外歴史研究グループが「大旦歴史館」を見学

12月11日、市内にある「福島盆地を歩く会」(菊地武彦代表)の会員10名が大旦歴史館他大旦の史跡を見学され、歴史館館長の齋藤忠昭さんが説明しました。

嶋原久町会長が歓迎の挨拶を行い、齋藤忠昭館長から大旦発祥の歴史等について

説明した後、大旦歴史館、愛宕神社、大旦堤防碑、大旦初祖の墓碑等見学しました。

同会は年間12回も各地を訪ね歩いて研究を重ねており、その活動に学ぶことが沢山ありました。



総会を控え 会計監査を実施

大旦町会総会の開催を控え、一月八日監事会を開き、過去一年間の会計執行状況について監査を行いました。

井上武之、齋藤修監事、齋藤裕信会計が参加し、齋藤会計から執行概要の説明があった後、帳簿、関係書類等の点検を行いました。終了後監事から後評を受けました。

一年間の内には会員の退会・入会が発生しますが、その都度会費徴収の管理につ



いて大変なご苦労をされております。今後とも健全な大旦町会財政の維持・管理についてご尽力をお願いいたします。

お正月飾りを 搬出する

一月二六日、愛宕神社氏子会では、納められた沢山のお正月飾りを、あぶくまクリーンセンターに搬送しました。



コラム



大旦歴史館に小学生の自分が

「大旦歴史館」が設置されてから三年余り経ちますが、歴史的価値が高い資料もあります。

子供さんと一緒に私達が暮らしている大旦の歴史についてかじってみるのも良いかと思えます。

自分が小学五年生の時の春日神社祭礼で、大旦少年会が町内を巡行した山車の写真がありました。山車はリヤカーが使われ、その上には大きな張りぼての「こけし」が載っています。骨組みは当木町内にあった穴戸籠屋さんが作り、こけしの色付けは、やはり当木町内の須藤さんという画家が行いました。可愛らしく出来上がり、喜んで引つ張りました。引き回していく道々であちこちの家からご祝儀を頂戴すると、こけしの中に入っている仲間がこけしの頭を前に倒してお礼のお辞儀をするのです。こけしの作りが頭と胴体が別々になっていて、頭には長い竹竿が付いていて、その竹竿を操作して、お辞儀のしぐさをさせるのです。きつと重くて大変だったろうと思います。そして、そのこけしの前の良い場所に、ちゃっかり齋藤警君が写っていました。皆さんの懐かし



齋藤 馨
見つか
かも知
ません
よ